



# とよあけ 市議会だより

No.182

2011年(平成23年)  
8月1日 発行

編集 議会だより編集委員会 発行 豊明市議会事務局 (92-1121)



昭和43年に県の天然記念物として指定を受けた全国的にも珍しい赤花のナガバノイシモチソウが市内に自生しています。このナガバノイシモチソウは、湿地に自生するモウセンゴケ科の1年生食虫植物です。

絶滅の危機の中で、さまざまな保護活動により、可憐な姿が見られる一般公開が、今年も8月に予定されています。

【 写真：上 ナガバノイシモチソウ  
右 自生保護地（沓掛町小廻間地内） 】

## 豊明の自然遺産

県指定天然記念物  
豊明のナガバノイシモチソウ



## 平成23年第2回定例会

あ  
ん  
な  
い

|            |            |
|------------|------------|
| 決まった主なことがら | P 2        |
| 一般質問 (17名) | P 3 ~ P 11 |
| 陳情 (1件)    | P 11       |

今期定例会は、平成23年6月9日から6月28日までの20日間にわたり開催され、議案6件、陳情1件のほか、議員から提出された議員提議議案1件などを審議しました。

# 決まった主なことがら

## 人事案件

◎農業委員会の委員の推薦  
（敬称略）  
議会推薦の農業委員が任期満了となるため、次の3名の議員を推薦することに決まりました。

近藤 郁子  
一色 美智子  
堀田 勝司

## 条例

◎豊明市特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の特例を定める条例の制定  
市長の給与を減額するために制定されました。  
平成23年7月1日から施行し、在職期間が終了するまで、市長の給料月額が100分の50減額になりました。  
（詳細については秘書政策課でお尋ねください。）  
◎豊明市議会基本条例の制定  
地方分権の進展に伴い、市議会の果たすべき責務が重要性を増してきています。そのために、市議会及び議員は市民からの信頼に応えるために市議会の活動原則、その他の基本事項を定めました。  
この議会基本条例には、通年議会とすること、答弁者に反問権を認めること、議会報告会を開催すること、議会中継をすることなどを規定しています。  
なお、この条例は平成24年4月1日から施行されます。  
（詳細については、議事課でお尋ねください。）

# 一般質問

（17名の議員が市政について質問しました。その内容は次のとおりです。）



# 提出された議案

| 議案番号     | 件名                                                                                                    | 議決状況                          |               |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|---------------|
|          |                                                                                                       | 可否決の別                         | 賛成            |
| 議案 36    | 市道の路線認定                                                                                               | 6・28 可決                       | 19            |
| 議案 37    | 豊明市特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の特例を定める条例の制定                                                                   | 6・28 可決                       | 18            |
| 議案 38    | 豊明市税条例の一部改正                                                                                           | 6・28 可決                       | 19            |
| 議案 39    | 平成23年度豊明市一般会計補正予算（第2号）                                                                                | 6・28 修正可決                     | 13            |
| 議案 40    | 平成23年度豊明市下水道事業特別会計補正予算（第1号）                                                                           | 6・28 可決                       | 19            |
| 議案 41    | 財産の買入れ（高規格救急自動車）                                                                                      | 6・28 可決                       | 19            |
| 報告 5     | 平成22年度豊明市土地開発公社決算並びに平成23年度豊明市土地開発公社事業計画及び予算の報告                                                        | 6・9 報告                        |               |
| 議員提出議案 2 | 議案第39号 平成23年度豊明市一般会計補正予算（第2号）の撤回の件                                                                    | 6・28 不承認                      | 0             |
| 議員提出議案 2 | 豊明市議会基本条例の制定                                                                                          | 6・28 可決                       | 14            |
| 推薦 1     | 農業委員会の委員となるべき者の推薦                                                                                     | 6・9 推薦                        | 16            |
| 陳情 4     | 議員派遣の件<br>議会閉会中における各常任委員会の継続調査<br>「教育基本法」・「学校教育法」の改正、「学習指導要領」の全面改訂に基づいた教科書採択がされるよう教育委員会への意見書の提出を求める陳情 | 6・9 可決<br>6・28 可決<br>6・28 不採択 | 19<br>19<br>0 |

## 《山盛 左千江》

### マニフェストの工程表について

問 ①マニフェストの工程表はいつできるのか。②進捗管理はどこが行い、市民に進捗状況や達成度等公表するか。

答 ①優先度を3段階に分類し、重要かつ緊急的なものから順に着手できるように準備を進めていく。②担当部署に示し、実施に向けて必要な手段や方法については、現在、検討中である。

### 市民負担の軽減について

問 ①個人市民税10%軽減の対象者や内容、実施時期は。②その他の軽減策についても説明を求める。

答 ①財源確保が最優先であり、低所得者に恩恵があるような形で取り組んでいくが、対象者や実施時期など、現在のところ方針を定めていない。②具体的な時期、方法が定まり次第、議会に報告していく。

### 入札改革について

問 ①一般競争入札の平均落札率は68・3%、指名入札は91・3%。工事内容で比較すると土木建築系は96・3%、電気工事

や空調など設備系は75%と大差。委託や備品購入等、全体において一般競争並、あるいは設備系の落札率に下があれば、約3億円のコスト削減がかなう。早急の見直しを求める。②入札対象事業でありながら随意契約しているものが多数ある。入札に切り替え、競争性を高める努力を求める。

答 ①制限付き一般競争入札の範囲を拡大することについては、他市の取り組み状況を考慮しながら、現在、検討作業に入っている。②随意契約しているものは、スケールメリットや事業内容を厳しく精査し、できる限り入札化へ移行していくことを考えている。また、長期継続契約も物品の借入や役務の提供など対象事業が出れば進めていく。

### 職員人件費の削減について

問 ①前市長の計画と比較し、4年間で何人削減するのか。削減目標額はいくらか。②一般職の給与カットもするのか。③職員の能力アップ、やる気を引き出す策は何か。④努力が報われるよう、人事評価の見直しを求める。

答 ①職員数は44名削減し、全体で460名程度としたい。②

職員の給与については、総人件費の削減を職員数の減員で行う考えであるので、現在のところ引き下げる考えはない。③意識改革に関する研修を今まで以上に取り入れていく。④人事評価を厳密に行い、努力した者が報われるような職場にしたいと考えている。



## 《早川 直彦》

### 市民の意見・要望を取り入れた住宅開発を

問 榎山住宅開発において、業者・行政の説明が十分住民に伝わらず、問題が発生している。

答 ①榎山開発地区の住民の要望に對し、どのように対応するのか。②今後、同様の住宅開発時のトラブルが発生しないための取り組みは。

答 ①開発届出者の責務として住民の意見を聴き、和解決していただくよう指導していく。②今後は、開発届出者に対し、将来の姿がイメージできるような説明を

するように指導していく。

### 省エネルギー促進活動の実施について

問 ①省エネルギーのキャンペーンを実施できないか。②広報や回覧板で、省エネに役立つ情報の提供をしてはどうか。③太陽光発電補助金を使い切った場合に、予算を追加し、希望者全員に補助するのか。④太陽熱温水システムにも市独自で補助ができないか。

答 ①②7月1日号広報に省エネの推進の記事を掲載し、市民や事業所の方にエコ推進の積極的な取り組みに対して、協力を呼びかけ啓発活動に努めていきたい。③補助金については予算の範囲内とする。市単独での増額は難しい状況であるので、愛知県の動向も注視していく。④太陽熱を利用するシステムは、非常にエコに効果的であり、今後の研究課題とする。

### 部活動とスポーツクラブのあり方について

問 ①部活動とスポーツクラブの違いが保護者にわかりにくい。制度のあり方を見直す考えはないか。②土日の試合等で移動する時、保護者が自家用車を出し

ている。事故が起きた場合の、保険や責任に関する説明をしているのか。③生活保護を受けている子どもたちに対して、支援をしているのか。④部活動の先生とスポーツクラブの監督・コーチとの連携がとれているのか。

答 ①制度を見直すために、新たに策定するスポーツ振興計画の中で、総合型の地域スポーツクラブを育成していきたい。②補償範囲対象外の事故は、各単位クラブの責任において対応することになっているので、十分理解されるよう周知していく。③学習支援費として小学生に30720円、中学生に51840円を年額支給している。④活動拠点は学校施設としているので、顧問と地域指導者が常に指導方法を協議、確認して進めていくことが必要であり、その場を設けるよう指導している。





《藤江 真理子》

市長と市民が新しいスタイルでコミュニケーションを

問 依頼のあった一部の区や町内会だけに向く「地域懇談会」ではなく、定期的に中学校区単位で意見交換会を開く考えは。

答 現在、地域懇談会制度があり、市政に望む意見や諸問題について懇談を行っており、定着しているので、提案として受けとめる。

学校の適正規模等策定業務委託事業について

問 ①小学校統廃合について保護者の間でさまざまな情報が飛び交っている。検討委員会の進捗状況と最終結論が出る時期は。②子どもにも発言の機会を設ける考えは。③市長マニフェストにある「とよあけ大学」についての構想は。

答 ①市民意識調査やワークショップを開催し、今年度末までに最終提言書を取りまとめる予定である。②子どもの代弁者は、保護者と考えているが、何らかの形で子どもの意見を把握することを考えたい。③各種講座を市民自身が企画・運営し、

人と人をつなげ、交流していく学びの場としたい。

市民参加型のメディア発信で積極的なPRを

問 市政・市民活動・催事などに積極的に市内外へメディア発信する必要がある。市のイメージアップにつながるPR記事は、人口増加、つまり財政収入増加の一策になる。売り込み作戦・戦術を練るため市民参加型として市民の意見・アイデアを活用する考えは。

答 新聞各社には、地域の身近な話題を積極的に情報提供していく。また、広報とよあけでは、伝言板のコーナーが設けてあり、市が主催しない市内で行われる各種の行事案内を掲載し、これらの活動をPR面でバックアップしている。さらに、平成24年1月号から広報とよあけをリニューアルし、レイアウトの変更や市民参加の方法を検討していく。

市長公用車の廃止について

問 ①プリウスを市長専用車とせず、職員も使用できるようにする考えは。②運転を委託せず、随行する職員に行わせてコスト

削減する考えは。③議長車についての考えは。

答 ①市長公用車の使用について、今後は研究していく。②コスト面など、いろんな経緯の中で委託しているが、一度検討していきたい。③8年目になる議長車は走行に問題がないので継続使用していただくが、今後については議会と協議していく。



《近藤 恵子》

災害発生時の迅速な初動体制確立のために

問 ①豊明市地域防災計画には、災害予防として「各部非常時初動マニュアル」の作成、更新をするよう記されているが、当市の現状は？②東海地震の警戒宣言発令時に各部に割り当てられている初動対応を見ると、その仕事量に多寡がある。初動時の混乱を防ぐためにも、現在の組織に合わせて見直すべきでは？

答 ①災害時の職員の行動は、地域防災計画や非常配備編成表により行うこととしており、庁

内ネットワークで周知している。また、避難所の設置や運用については平成18年1月に改定し、防災訓練にも取り入れている。②現在、全庁的に取り組んでおり、市の機構にあった配備をしている。機構改革、異動があれば見直しをしていく。

今夏の電力エネルギー対策と「とよあけエコアクションプランverⅢ」について

問 ①電力使用が増える時期、時間帯（月々水曜日午後1～4時）に合わせた節電対策は？②企業の土日操業にともなう保育園、児童クラブの対応は？③とよあけエコアクションプランⅢの目標値（今後5年でCO2の総排出量7%減）は、現在のエネルギー事情を反映していない目標値を見直す考えは？また積極的な施策の打ち出しは？

答 ①節電対策の一環として、既に電灯の間引きや休憩時間の消灯、クーリビズの前倒しを行っている。また、市役所本庁舎のatriumの天井に日よけを取り付け、冷房効果が上がるようにしたい。さらに市役所本庁舎南壁面で緑のカーテンを実施してきているが、他の公共施設でも冷房効果が上がるように

検討していきたい。②企業の節電対策による休日の変更対応として、保育園、児童館の日曜日の開園、開館ができるように準備を進めている。③とよあけエコアクションプランverⅢでは、直近の実績である平成21年度を基準とし、今まで同様に7%減を目標に、更なる節電対策を職員一丸となって取り組んでいく。また、職員に節電、省エネのアイデアを募集している。

議会改革に関する市長マニフェストについて

問 議会のインターネット配信を実現するための予算等、当局の対応は？

答 インターネット中継は議会を公開することに貢献すると考えているので、方法など検討していく。



## 《近藤 善人》

### 耕作放棄地の現状と課題について

**問** 本市には、592haの農用地に対して、4・9haの耕作放棄地があります。本市においての農業委員会の役割と事業内容は？「菜の花プロジェクト」については？耕作放棄地の農地への復帰・有効利用は？

**答** 農業委員会は、農地の権利移動の許可事務や定期的な農地利用状況調査を実施している。また、耕作放棄地には文書指導を行い、解消に努めている。遊休農地での菜の花プロジェクトは、本市においても2団体が取り組んでいる。

### 『放課後子ども教室』について

**問** 文科省と厚労省は、20年度から全ての公立小学校で放課後も児童を預かることを決めた。スタッフは、教員OBや地域住民です。子どもが安心して遊べる居場所づくりや子育ての負担軽減による少子化対策です。教室の概要・活動日・時間・活動内容・指導者・参加方法・費用・今後の予定について。

**答** 子どもの居場所として地域の方々の参画を得るなかで、学

習や文化活動、交流活動を行うことにより、地域社会のなかで健やかに育まれる環境をつくるものである。そこで、本年9月から双峰小学校で、祝日を除く月・金曜日の授業終了後から午後5時まで実施する予定である。活動スタッフは臨時職員2名を配置し、地域の方々や学生にもボランティアとして参加をお願いしていく。また、教室への参加は、登録制とし、保険料として600円の負担をしていただくことを予定している。今後は、余裕教室として学校側の協力ですべての小学校で放課後子ども教室を設置していきたい。

### 豊明市民マラソンについて

**問** 豊明シティマラソンは平成19年を最後に休止状態にあります。平成21年度、市民団体により「豊明健康チョコットマラソン」が開始されました。市でのマラソンの復活を望む市民は多いことと思います。主体はNPOのままとしながらも、活動が継続できるよう市の支援を検討されていますか？

**答** 学校の耐震工事等安全施策を優先することにより、豊明シティマラソンは平成20年度以降休止している。耐震工事が終了

する平成25年度に再度検討していく。また、「豊明健康チョコットマラソン」は市民提案型街づくり事業として採択され、市民の生涯スポーツ振興を図れることから、開催に対して協力していく。



## 《月岡 修一》

### 市長の後援会だよりNo.10の内容について、市長マニフェストから

**問** 市職員や議員を平然と批判している。嘘に近い文章を世の中に出されていますが、次の質問にお答えください。①石川前副市長を改革意欲がない、センスがないと、こきおろし、更には市幹部と議会が癒着をし、二元代表制が機能していない。②与党会派の多くの議員は勉強もせずに市長提案を追従し、その見返りに新規事業の情報をもらっている。議会はセレモニー

が執筆をしたが、内部の名前を発言することは控える。

### 火葬場の建設を急ぐ必要がある

**問** 最近、八事や知立斎場の他に青山斎場を利用しているようです。将来的には豊明市民が困らないように、市内に斎場または火葬場の建設を促進する必要があると考えているが。

**答** まずは知立市と基本線を保つことが第一である。市民の利用が一番多いのは知立市の逢妻浄苑であり、その利用状況を鑑み、知立市と意見交換する会議を開催する予定である。今後とも火葬場に関する諸問題を共有し、将来に向け協議の場を定期的に持ち、研究していく。



《一色 美智子》

新・石川市長に問う

**問** ①市民の負担を軽減。②暮らしやすいまちへ。③市民参画と人づくり。④財源をつくる具体的な方針をお示し下さい。⑤お役所体質を改善。⑥議会改革。

**答** ①市民税、国保税の応益分、介護保険料、保育料及び給食費の10%軽減、私立高校生への助成拡大、学童保育無料化。②災害対策・住宅耐震改修補助の拡充、子育てヘルパーの派遣、病児保育・学童保育の充実、発達障がい児対策、高齢者ボランティアの支援・拡大などを行っていききたい。③各区への交付金の増額やNPOなどの育成・支援に力を入れたい。④市長給与半減、人件費削減、入札改革及び事業仕分けなどで9億6千万円を捻出したい。⑤「全庁カイゼン運動」、「外部人材の登用」、「企業・商店への研修」などにより意識改革を図りたい。⑥議員の協力を得ながら、定数や情報公開などに取り組みたい。

防災対策について

**問** 大規模地震等の災害時には学校施設は、地域住民のための避難所となる役割を担っています。避難生活に必要な諸機能

を備えることも求められています。そこで伺います。1.学校施設の防災機能の向上について。

①学校施設の安全性の確保について。②避難所として施設に必要な諸機能の確保について。③避難所の運営方法の確立について。④学校教育活動の早期再開について。2.要援護者への対策について。3.「被災者支援システム」の普及・活用について。4.非常持出し品・備蓄品などの普及・啓発について。

**答** 1.①平成24年度末の耐震化100%を目標としている。非構造部材の耐震化を図るため検証を進めていく。②生活の場所、水・食料、トイレ、生活・再建情報の提供と備蓄品の配備をしていく。③避難者の代表による運営委員会で、共通ルールをつくり運営する。④被災地以外の地域や家庭、地域の協力・支援を得て学校教育が停滞しないように努める。2.介護福祉施設等に要援護者の受け入れについて協定を結んでいく。3.今後研究していく。4.市のホームページなどで啓発に努めていきたい。

救命・救急のために

**問** ①小中学校で命を助ける授業、人工呼吸やAEDを学んでいるのか。②障がい者・高齢者

宅に「命のカプセル」の導入について。

**答** ①AED講習に向けて消防署に協力を求めている。②実現に向けて検討していく。



《前山 美恵子》

地震対策と地域防災計画の見直しについて

**問** ①防災計画を東海、東南海、南海の3連動地震想定で見直しを。②木造住宅耐震改修の補助の増額を。また、住宅リフォーム助成制度を創設し、一部屋だけの部分改修やシェルター、耐震ベッド等にも補助対象に。③障がい者や高齢者の避難場所となる福祉避難所設置と避難マニュアルを。④防災協力農地登録制度の採用を。

**答** ①災害対策は県と市の連携が必要のため、県の見直し内容

に合わせ防災計画を見直す必要があると考える。②木造住宅耐震改修の補助については、現行の制度で考えているが、今後調査研究を進めていく。今のところ、住宅リフォーム助成制度は考えていないが、シェルター補助とあわせて調査研究をしている。

③災害時の要援護者避難場所として、福田会と覚書を締結、勅使会と調整中である。市内の介護福祉施設に対し、協力を依頼していく。マニュアルの整備は重要であり、今後検討していく。④全国的には普及していないが、調査研究していく。

脱原発社会に向けての自然エネルギー促進を

**問** ①自然エネルギーへの必要性が高く、普及のための目標と計画を。②4月から始まった太陽光発電設置の補助金の増額を。③太陽光発電を公共施設や学校等に設置の促進を。

**答** ①国の動向や情報を得ながら対応していきたい。②今のところ設置費補助額の上限の見直しは考えていない。③すでに市役所では太陽光発電の設置をしている。さらに、その他の施設についても研究していきたい。

地方税滞納整理機構に關して

**問** ①4月に滞納整理機構が発足すると同時に、強制的な取り立てが始まった。分納中の人でも差し押さえ予告書が送付されている。整理機構の処理事案では、生活を困窮させる差し押え処分はないとあるが、市の責任で対処するように。②要綱に整理機構から脱退できる規定があるので脱退を。

**答** ①情報の時間的なずれにより、状況の変化があり得るが、その場合は市から派遣する職員が過去の交渉記録を踏まえて担税力に見合った納税折衝を行う。②途中での脱退は考えていない。

核兵器廃絶の実現に向けて「平和市長会議」に加盟

**問** 既に970自治体が加盟。本市も加盟を。

**答** 平和市長会議については、趣旨に賛同し加盟していきたい。





## 《安井 明》

### ひまわりバスの利便性向上について

**問** 昨年10月1日より、ひまわりバスの路線が変更されました。使い勝手の良いひまわりバスに生まれ変わるものと市民は期待していたが、今年3月までに1万5千人の利用者が減った。市役所を中心に市役所南側については、現行のひまわりバスによる巡回対面運行とし、市役所北側については、10人乗り程度のワンボックス車による巡回対面運行とするよう早急に対応を求める。

**答** 昨年10月のダイヤ改正後は、幹線部分を路線バスが、支線部分を「ひまわりバス」が担当している。競合部分を減らしたため昨年10月から今年3月までの利用者は14886人の減少が生じたが、路線バスの利用者は約2万人増えている。路線バスの利用者全体が縮小する中で、地域公共交通としてのバス事業は市民の役に立っていると考える。今後、幹線・支線型の欠点である乗り継ぎが発生し、利便性が低下したことについては、地域公共交通会議にて検討していきたい。

### 駅前不法駐輪対策について

**問** 桶狭間古戦場公園横の歩道に駐輪している自転車について、早急に中京競馬場駅前駐輪場へ駐輪していただくよう対策を求める。

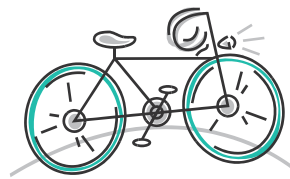
**答** 平日は地域安全監視員が注意札を取り付け、土曜・日曜や祝日は迷惑駐輪監視員が監視を行っている。今後は、有料駐輪場に駐輪するようにエフを作成し、継続的に指導する。

### 有事対策に地元建設業者育成の必要性について、震災等の防災計画と有事対策について

**問** 地元業者は激減している。有事に対し地元業者の育成が必要と考えるがいかか。行政と建設業界とで有事に対し契約を交わしているが、今のこの現状で、果たして計画通りに地元業者は対応可能かどうか問う。

**答** 緊急性を要する日常的な道路補修や台風・大雨等の災害時の初期対応は地元業者が担っており、その育成は必要と考える。市は、豊明建設業協会と災害支援協力に関する協定を平成16年5月に締結し、内容は災害応急役務の提供、資機材として重機

やダンプ、トイレの提供となっている。会員数は協定締結時の半数近くに減少し、支援していただける資機材も半減していると思われる。今後、建設業協会と協議し、防災力が低下することのないよう努めていく。



## 《近藤 千鶴》

### 防災対策について

**問** 3月11日に発生した東日本大震災において、想定外の被害が発生いたしました。そこで今回の東日本大震災を教訓にし、有事に備えて災害備蓄品について質問をいたします。①現在の豊明市災害時用備蓄品の追加品、数量の追加のお考えはないか伺う。②災害時備蓄品の備蓄場所の現状と課題について、どうお考えか。

**答** ①今年度は、食料1万8千食強、毛布1千枚を購入し、備蓄数は食料6万7千食強、飲料

水1万4千本強、毛布9千枚弱となる。また、防災備蓄備品購入計画に沿って車イス用トイレ2台、間仕切り20セット、簡易ベッド2セット、車イス2台を購入し、年度末の備蓄数は車イス用トイレ17台、間仕切り114セット、簡易ベッド24セット、車イス7台になる予定である。②防災倉庫153㎡と水防倉庫58㎡は旧国道沿いの県道瀬戸大府東海線の高架下であり、物資の搬出入には便利である。備蓄倉庫は、安全確保のため分散して設置している。今後、備蓄品目や数量を見直し、増やすこととなれば現在の倉庫では手狭になることが予想されるが、防災体制の低下を招かないように努めていく。

### 高齢者・障がい者対策について

**問** 高齢者・障がい者の方々のごみの収集について、現状と今後についてお聞きたい。高齢者・障がい者のお宅の玄関先までごみ収集に行き、あわせて安否確認を行えば、安心して暮らしていただけたと考えますが、当局のお考えを伺いたい。

**答** 高齢者・障がい者の方々の「ごみ出し」の援助については、ヘルパー派遣サービスの生

活援助のなかで行っており、シルバー人材センターのワンコインサービスでも利用者の要望に応じて「ごみ出し」を行う予定がある。また、安否確認については、ヘルパーが訪問した際の安否確認をはじめ、70歳以上の一人暮らし高齢者を対象とした乳酸菌飲料の配布、65歳以上の一人暮らし・高齢者のみの世帯を対象にした宅配給食サービス、民生児童委員による定期的な訪問が安否確認に役立っている。個別収集については、経費的な問題やごみ収集システムの根幹に関わるため、慎重に検討していきたい。



## 《伊藤 清》

## 市長の政策を問う

**問** ①桜ヶ丘沓掛線の早期開通。

豊明の将来の発展を担う重要な道路であり、大脇地区の日々の危険解消のためにも早期着工を。②国保税10%減税は可能か。平成8年から国保税は上がっていない。一方で医療費は平成8年が約20億円、今年度が約40億円と倍増している。国保税の引き下げは国保加入者にとってはありがたいが、社保加入のサラリーマンなど多くの現役世代には負担増につながる。公平性を欠く主張で、全く理解できない。

③介護保険料引き下げはサービスカットしなければ、不可能である。多くの市民は、何か無駄があり、その無駄をなくせば安くなると思っている。市長は介護保険の仕組みを理解していると思えない。

**答** ①平成23年度で未開通区間に係る公安委員会との計画協議を進めていく。財政見直しについては、平成24年度から社会資本整備総合交付金の地方道路等整備事業を予定し、残りの分については、一般公共事業債を借りて対応する考えである。事業用地取得がまだ済んでおらず、用地取得が難航することも予想されるため、開通目標時期につ

いては控えるが、街路事業では桜ヶ丘沓掛線を優先していく。

②個人市民税、国保税の減額の4億6千万円については、行政改革、市長の給与カット、人件費の10%カット、既存事業の見直し、削減、入札改革などを行い確保していく。低所得者に厚くしていくが、内部で検討段階であり、今述べていくことは少し控えたい。③介護保険料はこれから上がっていく状況にあり、そこを基本的に抑えていく。基金があるなら少し軽減ができるので、10%というあげ方をした。

## 三崎小学校内での児童クラブ実施について

**問** 三崎小は市内で唯一、児童クラブが2つの児童館に分かれる。交通安全上の問題もあり、早期解決を。三崎小は児童数の減少で余裕教室が2つある。余裕教室を活用し、校内で実施を。

**答** 小学校では双峰小学校、沓掛小学校、唐竹小学校で放課後児童クラブを実施している。下校時の安全性を考えると、学校内でのクラブの実施は非常に重要なことであるが、実施するためには余裕教室の状況が条件となる。また、本年9月から双峰小学校で放課後子ども教室が実施されるので、放課後児童クラ

ブとのあり方も検討し、余裕教室の状況をみて設置を考えていく。



## 《川上 裕》

## 豊明市の将来について

**問** ①人口について。第4次総合計画後期基本計画で、将来人口72000人（平成27年度）としていますがその見直しは。②活性化の重要な項目として、第4次総合計画後期基本計画最終年での予算とその中で都市基盤・産業振興費の占める割合をお聞きます。③第4次総合計画の施策の中での主要事業として、「南部土地利用計画に基づき、整備実現化方策の検討を行う」とありますが、検討を行うことが将来の姿と解釈し

てよいのですか。④豊明市の将来（10年後）ビジョンをお尋ねします。そして10年後の人口計画・歳入計画は。

**答** ①基本計画における将来人口は、平成22年度目標値が70200人に對し、平成22年度国勢調査速報値が69747人と、若干下回っているものの、概ね予測にかなったものと認識している。平成27年度目標値の72000人については、我が国の総人口や少子化現象などの影響を少なからず受けるものと思われる。②27年度推計数値の173億1100万円の中では、都市基盤事業費については、道路交通事業を中心に投資的経費10億4000万円の中に含んでいる。③南部地区の市街地整備は、第二東名高速道路豊明インター周辺、豊明駅周辺地域において、愛知豊明花き地方卸売市場を中心とした生産流通ゾーンを形成するため、産業施設の立地が可能な地域として位置づけられている。④10年後の歳入計画については、社会情勢、経済情勢により大きく変動するため、現時点では数字で表すことは困難であるが、歳入の半数を占める市税のうち、個人市民税は、少子化、高齢者の増加に伴う勤労者の減少、税制改革等により、税収増はあまり見込めないと予

測している。

## 豊明市の活性化とひまわりバスについて

**問** ひまわりバスの路線の拡充や、増車等が言われていますが、近隣市町から市内へ人を呼び込むなどの商業施設を誘致すれば、ひまわりバスも利便性を増し、活性化に弾みがつくと思いますか、そのような構想はありますか。

**答** ひまわりバスの運行は、交通空白地帯の解消、高齢者や子どもなどの交通弱者の社会参加促進、公共施設利用の利便性向上を目的に運行している。まちづくり3法が改正され、商業施設の誘致が中心市街地に限定されたため、商工会と協力して商店街活性化事業を実施していく。





## 《三浦 桂司》

### 木造住宅の耐震補強促進について

**問** 住宅の耐震補強は市民の生命財産を守る事ができる。豊明市としての推進計画は。

**答** 木造住宅耐震診断及び耐震改修補助事業については、平成15年度から実施しており、平成22年度末の診断実績は1267戸である。また、耐震改修にあつては、160戸である。今後もより多くの市民に関心を持っていただくよう耐震補強促進に努める。

### プラスエデュケート支援について

**問** 国の補助を受けて二村台で不就学指導・日本語支援教室を続けている団体がある。今年度で国の補助が終了するため、継続困難な状況に陥る。教育委員会の見解を伺いたい。

**答** 外国籍家庭への支援の経験と人材を持った教室であり、今後も外国人児童・生徒の増加が見込まれる状況から、今後も継続して運用できるよう支援・協力をしていきたい。

### 東日本大震災チャリティーコンサートについて

**問** 東日本大震災を見て、志ある方がチャリティーコンサートを開催したいと申し出があった。幹部会では公共施設を無償提供できないとの結論である。その理由を伺う。

**答** 被災者への支援が各地に広がっており、チャリティーコンサートは、あくまでも市民の自主的な活動であるので、市が関わっていくことは考えていない。

### 児童館・保育園の休日保育について

**問** 当市においても自動車関連会社に勤務している人の影響が大きい。土日の保育園・児童館の開放を望むが豊明市の方針は。

**答** 期間は7月から9月までの3ヵ月に限り、保育園では、土曜日の延長保育を1時間延長し午後6時までとし、日曜日の保育については、中部保育園で午前7時30分から午後6時まで実施する。また、児童クラブは中央児童館で午前8時から午後6時まで実施する。

### 市長マニフェスト（人件費10%削減）について

**問** 10%削減はいつまでに断行するのか、多くの市民から問われている。その時期を示していただきたい。

**答** 人件費削減の手法としては、職員定数の削減を実施することにより行いたいと考えているので、年度内において人件費削減を行う予定はない。



## 《堀田 勝司》

### 市長のマニフェストについて

**問** ①負担の多い私立高校生への助成1千万円の拡大について。いつから始めるのか？いくら補助金を出すのか？対象はどの階層を重点とするのか？財源はどこに求めたのか？具体的に！②学童保育の無料化と給食費10%補助について。いつから始めるのか？どのような方法で補助を出すのか？財源はどこに求めたのか？未払い者対策は？具体的に精査したのか？③県下一高水道料の値下げについて（企業

団に要請）。県下一高いと言った根拠はどこにあるか？一部ではなく全体や使用段階で発表すべきだが。④ひまわりバスの拡充。とにかく評判が悪い、次の改正時には市民の声を反映すること。

**答** ①②財源確保が最優先であり、優先度を3段階に分類し重要かつ緊急的なものから順次着手できるように準備を進めていくが、実施時期等については今後

つめていく。③下水道料金の改定の際の資料の中では、県下第1位の部分もあるので、今後は、市内部で調査を進めるとともに、愛知中部水道企業団を構成する他の市町と協議しながら、意見調整をしていく。④ひまわりバスの運行は、交通空白地帯の解消、高齢者や子どもなどの交通弱者の社会参加促進、公共施設利用の利便性向上を目的に運行している。しかし、市民からはさまざまな意見・要望があるので、改正後の利用状況調査を行い、市民ニーズを把握して、路線・ダイヤ改正に役立てたい。また、24年度事業として、バスの購入を要望しており、運行方法を含めて、バス等のタイプなどを地域公共交通会議で協議していく。

### 通学路の安全について

**問** 国道1号線から二ツ池の分団集合場所に行く道路が狭くて危険である。安全確保には分離歩道が理想だが、今の道幅では難しい。白線の歩道の内側を緑色に塗る、一方通行にする、通学路表示をする等の安全対策を求める。

**答** 通学路の安全対策については、学校・地元区長と相談して検討していくが緑色は歩道をイメージさせるので、現地で一番適切な方法を選択して設置していく。一旦停止については愛知署と協議していくが、区マークは学校と相談し、愛知署と協議していく。車両の進入禁止対策については、公安委員会の指定となるが、利害関係者である地元住民全員の承諾を添えて公安委員会に要望する必要があるの



## 《近藤 郁子》

## 市長の掲げられた公約について

**問** 公約を実施するための財源確保にあげられている事業仕分け、公共施設等の民間やNPO委託によるコスト削減、産業の活性化や女性の就業促進による税収増、遊休市有資産の活用等事業の具体的な内容は？個人市民税・国保税応益分10%削減について、現状と開始時期は？東日本大震災後、当市の災害対策の変更は？それにより財源の公約変更はないか？

**答** 公共施設等の民間やNPO委託によるコスト削減については、対象となる施設等の調査をしていく。産業の活性化や女性の就業促進による税収増については、暮らしやすいまちの項目にあるとおり、商・工・農業への低利融資等によるサポートや子育て支援施策等により実施していく。遊休市有資産の活用等は利用価値が低いものは売却をしていく。減税施策については、その財源の確保をはじめとした課題、内容、時期などは、現在、調査研究を行っているが、対象として、低所得者層に厚い制度となるよう研究を進めたい。公約については市民の支持を受けたいものであり、実現に向けて努

力することが当然の責務であるが、想定外の災害時においては、非常時であり公約内容に関わらず想定外の問題が必然的に発生するので、適切に対応していく。

## お役所体質の改善について

**問** 公約にはコスト削減を主とした体質改善が掲載されているが、市民は無駄なものはコストダウンすべきと考えるが、サービスの低下は望んでいない。かつて災害時には、向う三軒両隣が大切だと考える市民も多く、いい人材確保のためであっても市内在住職員が減少していることを危惧する声も多い。今後改善していく中でそれを払拭するべく、豊橋市にある超ローカルスーパーのごとく、市民に愛される超ローカルな市役所にするべきだと考えるが、公約とすり合わせ、市長の考えはどうか？

**答** 職員の能力や置かれた状況により、行政サービスが左右されることを常に意識した上で、人事施策を行っている。本市では、平成13年度以降、お役所体質の改善、顧客満足の向上を図るため、計画的に接遇・顧客満足関係の研修を毎年実施しており、地元の愛すべき役所を目指

している。平時、非常時のどちらでも市内、市外在住の別なく、良質なサービスが提供できるよう、引き続き職員の育成、環境整備に努めていきたい。



## 《毛受 明宏》

## 災害時の消防団員について

**問** 3月11日におきた東日本大震災にて震災後の現場へ駆け付けた消防団員が被災したと確認する。当市においても東海、東南海地震で高震度を位置付けられている。災害時の消防団員指示対応については？①災害発生時の団員への指示は？②万が一被災してしまった団員への保障は？

**答** ①災害発生時には、災害対策本部の連絡により、正副団長が警戒配備体制をとり、消防団長の指示の元に全分団員が分団

詰所持機となる。②消防団員等が災害現場等での活動により、死亡、負傷、または疾病にかかった場合は、「豊明市消防団員等公務災害補償条例」の定めにより損害を補償することになる。

## 「節電」LED照明促進・緑のカーテン促進とPRについて

**問** この夏、原発停止に伴う「節電」に対して質問します。①防犯灯完全LED化への考えは？②2012年白熱球の生産終了との事。庁舎内照明器具のLED化は？③庁舎一部に設置されている緑のカーテン、南側全面設置は？④緑のカーテン普及向け市民PRは？

**答** ①第4次総合計画において、「防犯灯の拡充に努めるとともに、寿命の長いLED電灯の導入を検討」するとしており、区や町内会にとってLEDが導入しやすくなるよう検討していく。②平成25年度の庁舎耐震工事の中で検討していく。③次年度以降に、費用対効果を検証して、全面に設置するかを考える。④緑のカーテンだけでなく、さまざまな省エネルギー対策に向けた積極的な取り組みや活動を市のホームページや広報でPRし

ていく。

## 国内でも有数の民間病院存在に感謝！と街づくりについて

**問** 日本各地で病院不足、医師不足を聞く。当市は日本中でも指折りの民間病院藤田保健衛生大学病院（保大）を有する。そのありがたさを含めたまちづくりについて①他市市民病院を有する自治体での特別会計から一般会計への繰出金は？②市内で保大以外の病院件数は？③比較的満ちた医療関係を生かした豊明市の将来像は？

**答** ①同等クラスの市での比較は難しいが、21年度の資料では、ほとんどの市が10億円以上繰り出している。②内科、外科等は34、歯科は30である。③災害対策における医療連携については、大きな課題であり、市全体の防災対策・計画ともリンクさせ発展的に取り組む必要性がある。



## 市長の市政における教育観を問う

**問** 児童・生徒に生きる力を身につけさせることが重要課題である。今、学校では生きる力を支える「確かな学力・豊かな心・健やかな体」の調和のとれた育成を重視する教育課程の編成に努めていると考える。そこで伺います。①市長の人づくりにおける具体的方針について。②マニフェストにおいて、教育の重視を表明されている。どのようなことに重点をおいて市政を運営するのか。③教育は先行投資といわれるが、予算の重点措置について。④豊かな心を育てる活動における栽培活動と飼育活動の取り組みについて。⑤防災教育に対する考えについて。

**答** ①児童生徒の個性を伸ばし、知、徳、体の調和の取れた自立した人間を育成し、教育目標を達成するために整備充実を図っていく。②学校教育の現場や教育現場の状況の把握に努め、課題や問題点を洗いだして、より良い教育環境となるよう改善・整備を図りたい。③特別支援教育支援員など、学校の課題への対応に向けた人的配置について、教育環境日本一を目指し、今後市の事業として検討していく。

④一般的に子どもたちの心を育てるといって、すぐに道徳とか教えるイメージであるが、日常起こっている中で、学んでいくことが大切である。⑤災害や防災についての基礎的・基本的事項を理解できるように、防災・避難訓練や安全指導などの防災教育を進めていきたい。

## マニフェストより、お役所体質の改善について伺いたい

**問** 何をもってお役所体質というのか。どのような点を、どのように改善しようとしているのか。次の点を中心に、取り組みについて考えを示していただきたい。①コスト意識を高める全庁カイゼン運動の推進について。②外部人材公募・年功序列の見直しについて。

**答** ①毎年改善を行ってきたが、さらに職員個々の意識改革を行い、身の回りから職場を変えていくようにしたい。②特定の職や事業に求められる新たな職員を募集する際には、年齢要件を下げ、民間経験等を有する優秀な人材を対象とし、経験・能力に即した職階に採用することを定めてある。年功序列見直しは、人材育成基本方針にて、年功序列重視の意識を改めることをう

たい、さらに人事異動基本方針に明記されており、昇任は年功にとらわれることなく総合的に判断し、実施している。



## 陳情

◎「教育基本法」・「学校教育法」の改正、「学習指導要領」の全面改訂に基づいた教科書採択がされるよう教育委員会への意見書の提出を求める陳情  
平成23年6月28日  
不採択

## 請願・陳情

皆さんの希望や意見を直接、市政に反映させるための手段として、請願書や陳情書を議会に提出することができます。

### ■請願及び陳情の提出方法

請願書・陳情書は、市政についての要望等を簡潔に記載し、提出年月日、提出者の住所及び氏名（法人の場合は、その名称及び代表者の氏名）を書き、押印したものを議長に提出することになっています。

請願書を提出する際には、1名以上の議員の紹介が必要です。（陳情書は、紹介議員は不要です。）

請願書・陳情書はいつでも受け付けていますが、事務処理の都合により各定例会の告示日（招集日の7日前。市の休日の場合は、その前日）までの提出にご協力ください。

## 議員派遣

平成23年第2回定例会で、次の件が議決されました。

### 議員派遣の件

平成23年6月9日

豊明市議会会議規則第159条の規定により、次のとおり議員を派遣する。

#### 1 友好自治体議員合同研修会

- (1) 派遣目的 住民交流の促進に係る行政施策の実情調査及び議員意見交換
- (2) 派遣場所 長野県木曽郡上松町
- (3) 派遣期間 平成23年7月26日から7月27日（2日間）
- (4) 派遣議員 議会運営委員会において決定する10名以内の議員



議 会 日 誌

4月  
24日 豊明市議会議員選挙  
26日 豊明市議会議員当選証書付与式

5月  
9日 会派代表者打合せ会  
11日 会派会議  
16日 第2回臨時会  
20日 議会運営委員会  
23日 全員協議会  
23日 会派会議

23日 24日 新議員研修会  
27日 正副委員長会  
31日 東部知多衛生組合議会臨時会

6月  
1日 愛知中部水道企業団議会臨時会

2日 愛知県競馬組合議会臨時会  
行政視察来訪  
宮崎県門川町議会議員  
会協議会定期総会（東京都）

3日 議会運営委員会  
9日 28日 第2回定例会  
9日 会派会議

15日 全国市議会議長会定期

7月  
17日 議会運営委員会  
21日 議会運営委員会  
28日 議会協議会  
総会（東京都）

7日 8日 愛知中部水道企業団議会議員行政視察  
11日 尾張農業共済事務組合議会臨時会  
14日 議会だより編集委員会

市 議 会 の 傍 聴

■本会議の傍聴

本会議は、公開が原則で、どなたでも自由に傍聴することができます。

議場の傍聴席は、一般席が48席あります。

■委員会の傍聴

委員会の一般傍聴と請願等に関する関係者の傍聴は、会議の進行や傍聴席等の状況に応じて委員会に諮って決定されます。

委員会の一般傍聴は、6人以内です。

（会議が開会された後に、傍聴を希望される場合は、会議の進行により、入室をお待ちいただくことがあります。）

傍聴の受付

本会議や委員会は通常、午前10時から開かれます。

傍聴は、会議当日の午前9時40分から受け付けを開始します。

傍聴を希望される方は、議会事務局窓口で受付簿に住所・氏名の記入を願います。

受け付け開始の時点で傍聴の定員を超えた場合は、抽選により傍聴者を決定します。

第3回定例会の開催日程（予定）

8月29日(月) 本会議(開会・議案上程・提案説明)  
8月31日(水) 本会議(一般質問)  
9月 1日(木) 本会議(一般質問)  
9月 2日(金) 本会議(一般質問)  
9月 6日(火) 本会議(議案質疑・委員会付託)  
9月 7日(水) 総務委員会  
9月 8日(木) 福祉文教委員会  
9月 9日(金) 建設消防委員会  
9月15日(木)・16日(金) 決算特別委員会  
9月27日(火) 本会議(委員長報告・討論・採決・閉会)

※本会議・委員会とも午前10時より開かれます。  
上記は予定のため、変更される場合がありますので、ご了承ください。  
詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。  
電話 0562-92-1121

議案等の審議結果（全会一致でない議案等の賛否）

○：賛成 ×：反対

| 議案等番号       | 会 派 名                               | 市 政 会 |    |    |    |    |    | 市政改革の会 |     |    | 清新会 |     | 公明党市議団 |    | 一  |    |     |    |    |    |     |
|-------------|-------------------------------------|-------|----|----|----|----|----|--------|-----|----|-----|-----|--------|----|----|----|-----|----|----|----|-----|
|             | 議 員 名<br><br>件 名                    | 三浦    | 平野 | 平野 | 安井 | 伊藤 | 月岡 | 堀田     | 藤江  | 早川 | 近藤  | 山盛  | 川上     | 毛受 | 近藤 | 近藤 | 一色  | 近藤 | 村山 | 杉浦 | 前山  |
|             |                                     | 桂司    | 龍司 | 敬祐 | 明  | 清  | 修一 | 勝司     | 真理子 | 直彦 | 恵子  | 左千江 | 裕      | 明宏 | 郁子 | 千鶴 | 美智子 | 善人 | 金敏 | 光男 | 美恵子 |
| 議案第 37 号    | 豊明市特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の特例を定める条例の制定 | ○     | ○  | 議長 | ○  | ○  | ○  | ○      | ○   | ○  | ○   | ○   | ○      | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ×   |
| 議案第 39 号    | 平成 23 年度豊明市一般会計補正予算（第 2 号）の修正案      | ○     | ○  | 議長 | ○  | ○  | ○  | ○      | ×   | ×  | ×   | ×   | ○      | ○  | ○  | ○  | ○   | ×  | ○  | ×  | ○   |
| 議員提出議案第 2 号 | 豊明市議会基本条例の制定                        | ○     | ○  | 議長 | ○  | ○  | ○  | ○      | ×   | ×  | ×   | ×   | ○      | ○  | ○  | ○  | ○   | ×  | ○  | ○  | ○   |